

S-01 シンポジウム01

Jp

5月18日(水) 9:50 ~ 11:50

第06会場 (Bブロック 5F ホールB5 (2))

パーキンソン病の病態：基礎研究はどこまでPDの病態を解明できるのか

座長：下 泰司 順天堂大学医学部附属練馬病院脳神経内科
松井 秀彰 新潟大学脳研究所脳病態解析分野

S-01-1 異所性のミトコンドリア DNA から迫るパーキンソン病の神経変性

松井 秀彰 新潟大学脳研究所 脳病態解析分野

S-01-2 膜輸送から迫る α シヌクレインプリオン様伝播の分子機構

長谷川隆文 東北大学大学院医学系研究科 神経・感覚器病態学講座神経内科学分野

S-01-3 α シヌクレイン病理から迫るパーキンソン病の病態

野中 隆 東京都医学総合研究所 認知症プロジェクト

S-01-4 大脳基底核の神経活動から迫るパーキンソン病の病態

南部 篤 生理学研究所 生体システム研究部門／総合研究大学院大学 生理科学専攻

S-02 シンポジウム02

Jp

5月18日(水) 9:50 ~ 11:50

第11会場 (ガラス棟 7F G701)

病院医療の先にある神経難病患者の療養を考える～在宅医療に何が出来るか～

座長：石垣 泰則 医療法人社団仁生堂大村病院
宮崎 之男 医療法人社団つくし会新田クリニック

S-02-1 病院医療と在宅医療の共存 ～現状と展望～

宮崎 之男 医療法人社団つくし会新田クリニック

S-02-2 パーキンソン病診療における病診連携 ～大学病院の立場から～

波田野 琢 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科

S-02-3 多系統萎縮症診療における病診連携 ～大学病院の立場から～

仙石 鍊平 東京慈恵会医科大学附属第三病院 脳神経内科

S-02-4 筋萎縮性側索硬化症(ALS) と在宅医療

荻野美恵子 国際医療福祉大学市川病院脳神経内科・神経難病センター／国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター・脳神経内科学

S-02-5 在宅医療における神経難病の位置づけ

石垣 泰則 医療法人社団悠輝会コーラルクリニック 脳神経内科

後援：一般社団法人 日本在宅医療連合学会

S-03 シンポジウム03

配信 Jp

5月18日(水) 13:20～15:20

第02会場 (Cブロック 4F ホールC)

未来を切り開く脳神経科学の新技术

座長：清水 文崇 山口大学大学院医学系研究科臨床神経学
 池中 建介 大阪大学大学院医学系研究科神経内科

S-03-1 生体イメージングで解き明かすグリア細胞の新規生理機能とその病態への寄与
 和氣 弘明 名古屋大学 大学院医学研究科 分子細胞学／自然科学研究機構 生理学研究所
 多細胞回路動態研究部門／神戸大学先端融合研究環

S-03-2 ヒト不死化細胞血液脳関門モデルの開発 ～中枢神経系疾患治療薬開発の
 加速を目指して～
 降幡 知巳 東京薬科大学薬学部

S-03-3 Organ-on-a-chip 技術を用いて作製した相互接続ヒト脳オルガノイドの複雑
 な神経活動と創薬への応用
 大崎 達哉 東京大学 生産技術研究所

S-03-4 超音波制御型アミロイド増幅装置 HANABI を用いた α シヌクレイン関連疾患
 の病態解明
 池中 建介 大阪大学大学院医学系研究科神経内科学

S-03-5 Bioinformatics で遺伝要因から環境要因まで
 安水 良明 大阪大学 大学院医学系研究科 神経内科学／大阪大学 免疫学フロンティア研究セ
 ンター 実験免疫学

S-03-6 透明化脳で加速するセルオミクス
 三谷 智樹 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学講座／理化学研究所生命機能科学研究セン
 ター 合成生物学研究チーム／大阪大学大学院医学系研究科 システム生物学講座

S-04 シンポジウム04

Jp

5月18日(水) 13:20～15:20

第06会場 (Bブロック 5F ホールB5 (2))

BMI技術が可能にする神経疾患治療のパラダイムシフト

座長：三原 雅史 川崎医科大学脳神経内科
 大山 彦光 順天堂大学脳神経内科

S-04-1 脳活動モデリング・デコーディングによる知覚・認知処理機構の解明
 西本 伸志 大阪大学大学院生命機能研究科／大阪大学大学院医学系研究科／情報通信研究機
 構CiNet

S-04-2 Brain Machine Interface を用いた革新的治療戦略
 柳澤 琢史 大阪大学高等共創研究院

S-04-3 神経機能ネットワークダイナミクスから見た脳卒中後の機能回復のメカニズム
 服部 憲明 富山大学学術研究部医学系リハビリテーション科

S-04-4 脳機能デコーディングを応用した脳機能回復戦略
 小金丸聡子 京都大学 医学研究科脳機能総合研究センター 神経機能回復・再生医学講座

S-05 シンポジウム05

Jp

5月18日(水) 13:20～15:20

第07会場 (Dブロック 7F ホールD7)

注目すべき3つのキーワードーCOVID時代のバーンアウト、厚生労働行政参画、治療と仕事の両立支援ー

座長：桑原 宏哉 東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野(脳神経内科)

萩原 悠太 聖マリアンナ医科大学神経内科

S-05-1 学会員アンケートを踏まえたバーンアウト対策

下畑 享良 岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野

S-05-2 COVID-19重点医療機関における実態調査を踏まえたバーンアウト対策

木村百合香 東京都保健医療公社 荏原病院 耳鼻咽喉科

指定発言 行政による治療と仕事の両立支援の取り組み

伊藤遼太郎 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課 治療と仕事の両立支援室

S-05-3 脳神経内科における両立支援外来の重要性

山徳 雅人 聖マリアンナ医科大学 脳神経内科

S-05-4 神経難病、脳卒中における治療と仕事の両立支援

橋本洋一郎 熊本市市民病院 脳神経内科

S-05-5 脳卒中を含む循環器病対策に係る行政参画

石上 晃子 国立循環器病研究センター 脳血管内科／国立循環器病研究センター 研究振興部研究医療課

S-05-6 厚生労働省における医療分野の研究開発推進に係る行政参画

桑原 宏哉 東京医科歯科大学病院 脳神経内科／統合イノベーション推進機構

18
日シン
ポ
ジ
ウ
ム

S-06 シンポジウム06

Jp

5月18日(水) 13:20～15:20

第08会場 (Dブロック 5F ホールD5)

Huntington病アップデート

座長：長谷川一子 国立病院機構相模原病院臨床研究センター神経難病研究室

貫名 信行 順天堂大学

S-06-1 Huntington 病の現状に関するオーバービュー

長谷川一子 相模原病院 脳神経内科

S-06-2 Huntington 病の病因遺伝子(HTT) アップデート

石浦 浩之 東京大学 神経内科学

S-06-3 Huntingtin アップデート

永井 義隆 近畿大学医学部 脳神経内科

S-06-4 Huntington 病：諸症状に発現における大脳基底核と大脳皮質の病態とその制御

濱田 雅 東京大学医学部附属病院 脳神経内科

S-06-5 Huntington 病の臨床試験の現状と展望

岡澤 均 東京医科歯科大学 神経病理学分野／東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター

S-07 シンポジウム07

Jp

5月18日(水) 13:20～15:20

第09会場 (Dブロック 1F ホールD1)

他学会に学ぶ臨床医会の意義

座長：西山 和利 北里大学医学部脳神経内科学
丹羽 潔 医療法人社団英麗会東京頭痛クリニック

S-07-1 臨床医部会設置準備委員会からの活動報告

西山 和利 北里大学医学部脳神経内科学

S-07-2 日本臨床耳鼻咽喉科医会の設立に至る経緯と活動について

岩佐 英之 岩佐耳鼻咽喉科

S-07-3 日本臨床整形外科学会(JCOA)の活動

藤野 圭司 藤野整形外科医院

S-07-4 様々な分野での臨床医会の活動実態と日本神経学会の将来像

浅沼光太郎 (康生会)柳馬場武田クリニック

企画：日本神経学会臨床医部会設置準備委員会

S-08 シンポジウム08

Jp

5月18日(水) 13:20～15:20

第11会場 (ガラス棟 7F G701)

神経筋接合部-基礎から臨床アップデート-

座長：重本 和宏 東京都健康長寿医療センター研究所老年病態研究チーム
大野 欽司 名古屋大学大学院医学系研究科神経遺伝情報学

S-08-1 先天性筋無力症候群アップデートと神経筋接合部の構築を誘導する新規分泌因子

大野 欽司 名古屋大学医学系研究科 神経遺伝情報学

S-08-2 神経筋接合部を標的とする神経筋疾患の新規治療法開発

山梨 裕司 東京大学医科学研究所 腫瘍抑制分野

S-08-3 MuSK 抗体陽性重症筋無力症の発症メカニズムとバイオマーカー

重本 和宏 東京都健康長寿医療センター 老年病態研究チーム

S-08-4 重症筋無力症の革新的治療開発：Fc融合蛋白を用いた抗AChR抗体中和・選択的病原性B細胞抑制療法

桑原 聡 千葉大学病院 脳神経内科

S-08-5 重症筋無力症の新規診療ガイドライン

村井 弘之 国際医療福祉大学医学部 脳神経内科学

Clinical and pathological heterogeneity in multiple system atrophy

Chairs : Masaki Takao

National Center of Neurology and Psychiatry (NCNP) National Center Hospital

Yasuo Miki

Department of Neuropathology, Hirosaki University Graduate school of Medicine

S-09-1 Pathological features of individuals with typical MSA, preclinical MSA, and MSA of long duration

Taku Homma

Saitama Medical University International Medical Center, Japan

S-09-2 Clinicopathological features of MSA with concomitant pathologies

Shunsuke Koga

Department of Neuroscience, Mayo Clinic, USA

S-09-3 Pathological substrate of memory impairment in multiple system atrophy

Yasuo Miki

Department of Neuropathology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Japan

S-09-4 Frontotemporal lobar degeneration α -synuclein - update

Gabor G. Kovacs

University of Toronto, Canada / University Health Network, Toronto, Canada

後援：日本神経病理学会

Personalized medicine for ultra-rare disease by nucleic acid drug

Chairs : Annemieke Aartsma-rus

Leiden University Medical Center

Takanori Yokota

Department of Neurology and Neurological Science, Tokyo Medical and Dental University

S-10-1 Early forays into individualized genomic medicine with antisense oligonucleotides

Tojo Nakayama

Harvard Medical School Boston Children's Hospital, Japan

S-10-2 Development of Antisense Drugs for Rare Neurological Diseases

Frank Bennett

Ionis Pharmaceuticals, USA

S-10-3 Dutch Center for RNA Therapeutics:a center to develop AON therapies for patients with rare mutations
Annemieke Aartsma-rus
Leiden University Medical Center, the Netherlands/Dutch Center for RNA Therapeutics, the Netherlands

S-10-4 'N of 1' therapy, IRUD and IRUD Beyond
Hidehiro Mizusawa
National Center of Neurology and Psychiatry, Japan/Tokyo Medical and Dental University, Japan

後援：日本核酸医薬学会

S-11 シンポジウム11

JP

5月19日(木) 8:00 ~ 9:30

第06会場 (Bブロック 5F ホールB5 (2))

脊髄関連疾患の診断と病態トピックス

座長：山野 嘉久 聖マリアンナ医科大学内科学・脳神経内科
三須 建郎 東北大学大学院医学系研究科脳神経内科

S-11-1 脊髄炎の鑑別診断
安藤 哲朗 亀田メディカルセンター 脳神経内科

S-11-2 HTLV-1関連脊髄症(HAM)の病態形成機構
新谷奈津美 聖マリアンナ医科大学病院 難病治療研究センター

S-11-3 抗MOG抗体関連疾患の病態と診断法
三須 建郎 東北大学病院 脳神経内科

S-11-4 抗GFAP抗体関連疾患の病態と診断法
木村 暁夫 岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科

S-12 シンポジウム12

JP

5月19日(木) 8:00 ~ 9:30

第07会場 (Dブロック 7F ホールD7)

脳梗塞再発例に挑む

座長：藤本 茂 自治医科大学脳神経内科
井口 保之 東京慈恵会医科大学 脳神経内科

S-12-1 抗凝固薬内服下で発症した脳卒中の実態から考える適切な抗凝固療法
須田 智 日本医科大学 脳神経内科

S-12-2 心房細動を有する脳梗塞の再発～CKD/透析症例～
藤本 茂 自治医科大学 内科学講座神経内科学部門

S-12-3 脳血管狭窄を有する脳梗塞の再発 ～抗血小板薬内服下～
山上 宏 大阪医療センター 脳卒中内科

S-12-4 卵円孔開存を有する脳梗塞再発
大木 宏一 東京都済生会中央病院 脳神経内科

- S-12-5 癌関連脳梗塞と再発予防治療
田中 亮太 自治医科大学附属病院脳卒中センター・脳神経内科

S-13 シンポジウム13

Jp

5月19日(木) 8:00 ~ 9:30

第08会場 (Dブロック 5F ホールD5)

非侵襲的超音波脳刺激の基礎と応用

座長：宇川 義一 公立大学法人福島県立医科大学ヒト神経生理学講座
小西 清貴 順天堂大学医学部

- S-13-1 超音波の定義、なぜ医学に役立つか
金井 浩 東北大学大学院工学研究科電子工学専攻

- S-13-2 非侵襲的超音波脳刺激(TUS)の機序
寺尾 安生 杏林大学医学部病態生理学教室

- S-13-3 ヒト大脳皮質および大脳基底核への低出力超音波刺激の実践例
小西 清貴 順天堂大学医学部生理学第一講座

S-14 シンポジウム14

Jp

5月19日(木) 8:00 ~ 9:30

第09会場 (Dブロック 1F ホールD1)

ナルコレプシーの病態と合併症

座長：井上 雄一 東京医科大学睡眠学講座
鈴木 圭輔 獨協医科大学病院脳神経内科

- S-14-1 ナルコレプシーに合併するRBD：特発性RBDとの比較
藤田 裕明 獨協医科大学病院 脳神経内科

- S-14-2 カタプレキシーを制御する神経回路
内田俊太郎 理化学研究所 生命機能研究センター 比較コネクトミクス研究チーム

- S-14-3 ナルコレプシーにおけるメタボリック症候群関連障害の実態
井上 雄一 東京医科大学 睡眠学講座/公益財団法人神経研究所

- S-14-4 本態性・症候性のナルコレプシー・過眠症とその治療戦略
神林 崇 筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構/茨城県立こころの医療センター

S-15 シンポジウム15

Jp

5月19日(木) 8:00 ~ 9:30

第11会場 (ガラス棟 7F G701)

脳神経内科医の総合内科診療力：基本領域を目指す脳神経内科に求められること

座長：高橋 良輔 京都大学医学部附属病院脳神経内科
戸田 達史 東京大学大学院医学系研究科神経内科学

- S-15-1 専門医機構の考える総合診療医のあり方
羽鳥 裕 日本医師会 常任理事/日本専門医機構 総合診療専門医検討委員会委員長

- S-15-2** 厚生労働省における総合診療に関する施策について
福田 亮介 厚生労働省医政局医事課医師養成等企画調整室
- S-15-3** 脳神経内科基本領域化と脳神経内科医の持つべき総合内科診療力
園生 雅弘 帝京大学病院 脳神経内科
- S-15-4** 地域医療における総合診療医としての脳神経内科医
大八木保政 愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経内科・老年医学講座
- S-15-5** 総合診療科を運営した脳神経内科医の経験から：総合診療医と脳神経内科医のコアコンピテンシーについて
山脇 正永 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床医学教育開発学分野

企画：日本神経学会神経内科専門医基本領域化推進対策本部

S-16 シンポジウム16

配信 En

5月19日(木) 15:30～17:30

第03会場 (Bブロック 7F ホールB7 (1))

Frontiers of animal models for neurodegenerative diseases

Chairs : Koji Yamanaka

Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University

Atsushi Iwata

Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital

- S-16-1** Development of next-generation tauopathy model mouse
Naoto Watamura
RIKEN Center for Brain Science, Japan
- S-16-2** Mutant α -Synuclein transgenic marmoset as a model for Parkinson's disease
Reona Kobayashi
RIKEN Center for Brain Science, Japan / Department of Physiology, Keio University School of Medicine, Japan
- S-16-3** Generation of animal models of Alzheimer's disease - from mice to non-human primates
Hiroki Sasaguri
Laboratory for Proteolytic Neuroscience, RIKEN Center for Brain Science, Japan / Department of Neurology and Neurological Science, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University, Japan
- S-16-4** Animal model of Parkinson's disease: For unveiling the pathogenesis and the development of DMT
Hodaka Yamakado
Department of Neurology Kyoto University Hospital, Japan
- S-16-5** Revisiting TDP-43-based mouse models for ALS and FTD
Koji Yamanaka
Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University, Japan

Integrated understanding of physiology and imaging based on the genetic dystonia

Chairs : Nagako Murase

National Hospital Organization Nara Medical Center

Yuishin Izumi

Department of Neurology, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima

University Graduate School

S-17-1

Biochemical, Electrophysiological and Behavioral Studies using Genetic Mouse Models of DYT1 Dystonia

Fumiaki Yokoi

Norman Fixel Institute for Neurological Diseases, USA / McKnight Brain Institute, USA /

Department of Neurology, College of Medicine, University of Florida, USA

S-17-2

Disruption of network for visual perception of natural motion in DYT1 dystonia

Koji Fujita

Department of Neurology, Tokushima University, Japan

S-17-3

GCH1 variants in dopa-responsive dystonia and Parkinson's disease

Hiroyo Yoshino

Research Institute for Diseases of Old Age, Graduate School of Medicine, Juntendo University, Japan

S-17-4

Pre-movement gating of somatosensory evoked potentials in two types of DYT5, Segawa disease

Kazue Kimura

Segawa Memorial Neurological Clinic for Children, Japan

S-17-5

PRRT2 mutations in Japanese patients with benign infantile epilepsy and paroxysmal kinesigenic dyskinesia

Yoshiteru Azuma

Department of Pediatrics, Aichi Medical University, Japan

ICTを活用した神経難病診療とリハビリテーション

座長：市川 忠 埼玉県総合リハビリテーションセンター脳神経内科

中馬 孝容 滋賀県立総合病院リハビリテーション科

S-18-1

神経難病診療におけるICT, AIなど新技術

大山 彦光 順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科

S-18-2

遠隔リハビリテーションの可能性と限界 -PD 遠隔リハ研究会活動から-

市川 忠 埼玉県総合リハビリテーションセンター 脳神経内科

S-18-3 パーキンソン病センターでの遠隔リハビリテーションの取り組み

土居 充 国立病院機構鳥取医療センター 脳神経内科

S-18-4 神経疾患の摂食嚥下障害へのオンラインリハビリテーション

野崎 園子 わかくさ竜間リハビリテーション病院

S-19 シンポジウム19

配信 En

5月20日(金) 8:00 ~ 9:30

第03会場 (Bブロック 7F ホールB7 (1))

Autophagy dysfunction in Alzheimer's disease and dementia

Chairs : Tatsuro Mutoh

Fujita Health University Hospital

Tadanori Hamano

Department of Neurology, University of Fukui

S-19-1 Autophagy dysfunction and accumulation of amyloid beta protein and tau protein

Tadanori Hamano

Department of Neurology, University of Fukui, Japan

S-19-2 Tau propagation and autophagy dysfunction - relationship to strain hypothesis and treatment

Yumiko Motoi

Department of Neurology, Graduate School of Medicine, Juntendo University, Japan / Department of Diagnosis, Prevention, and Treatment of Dementia, Graduate School of Medicine, Juntendo University, Japan / Juntendo University, Juntendo hospital Medical Center for Dementia, Japan

S-19-3 Dysfunction of the autophagy-endolysosomal system in ALS and FTD

Shinji Hadano

Department of Molecular Life Sciences, Tokai University School of Medicine, Japan

S-19-4 Autophagy dysfunction in skeletal myopathies: Inclusion body myositis and Danon disease

Kazuma Sugie

Department of Neurology, Nara Medical University, Japan

S-20 シンポジウム20

配信 En

5月20日(金) 8:00 ~ 9:30

第05会場 (Bブロック 5F ホールB5 (1))

Innovation of non-invasive brain stimulation

Chairs : Yasuo Terao

Department of Medical Physiology, Kyorin University

Masashi Hamada

the University of Tokyo Hospital

S-20-1 Non-invasive temporal interference electrical deep brain stimulation

Nir Grossman

Imperial College London, UK / UK Dementia Research Institute, UK / Massachusetts Institute of Technology, UK

- S-20-2** Transcranial ultrasound stimulation(TUS) and its clinical application
Yoshikazu Ugawa
Department of Human Neurophysiology, Japan
- S-20-3** Repetitive transcranial magnetic stimulation(rTMS) for depression in Parkinson's disease
Shinsuke Kito
National Center of Neurology and Psychiatry, Japan/Jikei University School of Medicine, Japan
- S-20-4** Neo-rehabilitation for Stroke: Gait Reconstruction using Closed-Loop Stimulation
Tatsuya Mima
The Graduate School of Core Ethics and Frontier Sciences, Ritsumeikan University, Japan

後援：日本臨床神経生理学会

S-21 シンポジウム21**Jp**

5月20日(金) 8:00 ~ 9:30

第06会場 (Bブロック 5F ホールB5 (2))

神経系疾患を対象とする小児－成人移行医療への取り組み：小児診療科医師と成人診療科医師との連携

座長：望月 葉子 東京都立北療育医療センター内科・脳神経内科
尾方 克久 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院神経内科／臨床研究部

- S-21-1** 患者・家族、小児科、成人診療科の関係者が安心できる成人科移行期支援体制を目指して
眞下 秀明 東京都立神経病院神経小児科
- S-21-2** 大学病院小児神経外来における移行期医療
大戸 達之 筑波大学医学医療系 小児科
- S-21-3** 地域基幹病院脳神経内科における移行医療受入の現状と課題
崎山 快夫 自治医科大学附属さいたま医療センター 脳神経内科
- S-21-4** 成人診療科における小児期発症慢性神経・筋疾患患者診療の現状と課題
齊藤 利雄 国立病院機構大阪刀根山医療センター 神経内科・小児神経内科
- S-21-5** 神経系疾患における小児－成人移行医療の展望：日本神経学会 小児－成人移行医療特別委員会報告
尾方 克久 国立病院機構東埼玉病院 神経内科／臨床研究部／日本神経学会 小児－成人移行医療特別委員会

後援：日本小児神経学会

企画：日本神経学会小児－成人移行医療対策特別委員会

S-22 シンポジウム22

Jp

5月20日(金) 8:00 ~ 9:30

第08会場 (Dブロック 5F ホールD5)

多発性硬化症の個別化医療を考える

座長：森 雅裕 千葉大学医学部脳神経内科
野原千洋子 東京都保健医療公社荏原病院神経内科

S-22-1 個別化医療に役立つ「免疫学的機序からみたrelapsing MSとprogressive MSの病態」最新情報

河内 泉 新潟大学医歯学総合病院脳神経内科／新潟大学大学院医歯学総合研究科医学教育センター

S-22-2 多発性硬化症の個別化医療—予後不良因子と疾患バイオマーカー—

中原 仁 慶應義塾大学医学部 神経内科

S-22-3 再発予防治療を選択する際考慮すべきLife eventや社会環境

清水 優子 東京女子医科大学病院 脳神経内科

S-22-4 病態と社会的背景を考慮したMS再発予防治療

宮崎 雄生 国立病院機構北海道医療センター 脳神経内科

S-23 シンポジウム23

Jp

5月20日(金) 8:00 ~ 9:30

第09会場 (Dブロック 1F ホールD1)

AIを用いた神経筋疾患の診断と遺伝子治療への応用

座長：西野 一三 国立精神・神経医療研究センター神経研究所 疾病研究第一部
青木 吉嗣 独) 国立精神・神経医療研究センター神経研究所 遺伝子疾患治療研究部

S-23-1 AIを用いた筋病理診断アルゴリズム

西野 一三 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部

S-23-2 eSkip-Finder: 神経・筋疾患を対象にしたアンチセンス核酸配列の機械学習モデルに基づいた予測システム

青木 吉嗣 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 遺伝子疾患治療研究部

S-23-3 脳波・脳磁図に適用したディープ・ラーニングによる神経疾患の自動診断

福岡 良平 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科

S-23-4 正確・安全な遺伝子治療を目指した、立体構造に基づく新規ゲノム編集ツールの開発

濡木 理 東京大学大学院理学系研究科

後援：日本筋学会

Frontiers of Gene and Cell Therapy

Chairs : Shin-ichi Muramatsu

Jichi Medical University

Yohei Okada

Aichi Medical University, Department of Neurology

S-24-1 Safety and clinical outcomes from the PD 1101 trial of AADC gene therapy for Parkinson's disease

Chadwick Christine

University of California San Francisco, USA

S-24-2 Recent advances in AAV gene therapy

Shin-ichi Muramatsu

Division of Neurological Gene Therapy, Center for Open Innovation, Jichi Medical University, Japan / Center for Gene and Cell Therapy, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Japan

S-24-3 Disease modeling and drug development for Parkinson's disease using iPS cells

Wado Akamatsu

Center for Genomic and Regenerative Medicine, Juntendo University, Japan

S-24-4 iPS cell-based therapy for Parkinson's disease

Jun Takahashi

Kyoto University, Center for iPS Cell Research and Application, Japan

周回遅れからの脱出

座長：林 由起子 東京医科大学病態生理学分野

三澤 園子 千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学

S-25-1 周回遅れからの脱出：我が国の現状を踏まえて

林 由起子 東京医科大学 病態生理学分野

S-25-2 コロナ禍が浮き彫りにした日本の社会保障の脆弱性と今後の課題

飯野奈津子 山梨大学客員教授

S-25-3 日本の医療分野における情報化：DxとAI

花川 隆 京都大学医学研究科 脳統合イメージング分野

S-25-4 アカデミアにおけるジェンダーギャップ解消への道筋

村田 晶子 早稲田大学文学学術院

S-26 シンポジウム26**Jp**

5月20日(金) 13:45～15:45

第06会場 (Bブロック 5F ホールB5 (2))

21世紀における脳神経内科と精神科の関係を考える

座長：柏原 健一 岡山脳神経内科クリニック
 柴山 秀博 亀田メディカルセンター神経内科

S-26-1 西洋の歴史に見る脳神経内科と精神科との関係

柴山 秀博 亀田総合病院 神経内科

S-26-2 精神科医として役立った脳神経内科の知識、脳神経内科医として役立った精神科の知識：一臨床医の声

柏原 健一 岡山脳神経内科クリニック

S-26-3 運動疾患における精神症状と精神疾患における運動症状

西尾 慶之 都立松沢病院 精神科・神経内科

S-26-4 運動障害と認知機能障害から考える脳神経内科と精神科の関係

高橋 英彦 東京医科歯科大学

後援：日本精神神経学会

S-27 シンポジウム27**Jp**

5月20日(金) 13:45～15:45

第07会場 (Dブロック 7F ホールD7)

DMT時代の認知症診療に求められる次世代画像診断とその背景

座長：渡辺 宏久 藤田医科大学医学部脳神経内科学
 島田 斉 新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター臨床機能脳神経学分野

S-27-1 アルツハイマー病に対するDMTの開発状況と臨床実用化

岩坪 威 東京大学医学系研究科神経病理学

S-27-2 軽度認知障害の背景病理と臨床的特徴

高尾 昌樹 国立精神・神経医療研究センター 病院 臨床検査部

S-27-3 DMT 時代における認知症画像診断領域へのAI の適応課題と将来展望

青山 裕紀 株式会社Splink

S-27-4 DTM時代の診療におけるアミロイドPETの展望

石井 賢二 東京都健康長寿医療センター研究所 神経画像研究チーム

S-27-5 DMT開始後に留意すべき画像所見とその対応

富本 秀和 三重大学病院 脳神経内科

S-28 シンポジウム28**配信 En**

5月20日(金) 13:45 ~ 15:45

第10会場(ガラス棟 4F G409)

The future of neuromuscular disease registries-The advent of disease-modifying therapy and patient involvement

Chairs : Eri Hirasawa

Department of Neurology Graduate School of Medicine, Juntendo University

Masanori Takahashi

Osaka University Graduate School of Medicine

S-28-1 Clinical innovation network and registry of muscular dystrophy (REMUDY)

Harumasa Nakamura

Department of Clinical Research Support Clinical Research & Education Promotion Division,
National Center Hospital National Center of Neurology and Psychiatry, Japan**S-28-2 A nationwide patient registry for GNE myopathy in Japan: 10 years of experience**

一般演題から採用

Madoka Mori-Yoshimura

Department of Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and
Psychiatry, Japan**S-28-3 A longitudinal cohort study of adults with spinal muscular atrophy**

Kentarō Sahashi

Department of Neurology, Nagoya University Hospital, Japan

S-28-4 Active patient involvement in rare disease research

Kazuto Kato

Department of Biomedical Ethics and Public Policy, Graduate School of Medicine, Osaka
University, Japan**S-28-5 The TREAT-NMD Global Registry Network**

Volker Straub

John Walton Muscular Dystrophy Research Centre, Newcastle University, UK

S-29 シンポジウム29**配信 Jp**

5月21日(土) 8:00 ~ 10:00

第05会場(Bブロック 5F ホールB5 (1))

新型コロナウイルスCOVID-19感染症とワクチンに関連した神経疾患

座長: 三條 伸夫 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学分野(神経内科)

佐藤 克也 長崎大学医歯薬学総合研究科医療科学専攻保健科学分野(脳神経内科学
専攻)**S-29-1 SARS-CoV-2ウイルス特性とCOVID-19による神経系感染症**

三條 伸夫 東京医科歯科大学病院 神経内科

S-29-2 COVID-19感染と神経免疫疾患

奥野 龍慎 大阪大学 神経内科

S-29-3 COVID-19神経合併症:脳卒中

石橋 哲 いしばし脳神経内科学クリニック/東京医科歯科大学脳神経病態学非常勤講師

20
日21
日シ
ン
ポ
ジ
ウ
ム

S-29-4 COVID-19罹患後症状・Long COVIDにおける神経症状

中嶋 秀人 日本大学板橋病院 内科学系神経内科学分野

S-29-5 COVID-19ワクチンの種類と特徴

森内 浩幸 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学講座

S-29-6 COVID-19ワクチン後の神経系 AEs

八木 洋輔 東京医科歯科大学 脳神経病態学分野(脳神経内科)

S-30 シンポジウム30

Jp

5月21日(土) 8:00～10:00

第07会場 (Dブロック 7F ホールD7)

脳神経内科医による医師主導治験の最前線

座長：望月 秀樹 大阪大学大学院医学系研究科神経内科学

小野寺 理 新潟大学脳研究所臨床神経学部門 神経内科学分野

S-30-1 難治性CIDPに対する医師主導治験と患者申出療養制度による臨床研究

飯島 正博 名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部

S-30-2 パーキンソン病の治験に向けて

木村 康義 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学

S-30-3 筋疾患に対する遺伝子治療 ～福山型先天性筋ジストロフィーの医師主導治験～

藤野 悟央 東京大学医学部附属病院 脳神経内科

S-30-4 医師主導治験：ポリグルタミン病に対する蛋白質凝集阻害薬の第Ⅱ相試験

石原 智彦 新潟大学脳研究所 脳神経内科

企画：日本神経学会将来構想委員会

S-31 シンポジウム31

Jp

5月21日(土) 8:00～10:00

第09会場 (Dブロック 1F ホールD1)

代謝性・遺伝性末梢神経障害治療の最前線

座長：小池 春樹 名古屋大学大学院医学系研究科脳神経内科

橋口 昭大 鹿児島大学病院 脳・神経センター脳神経内科

S-31-1 脊髄性筋萎縮症治療の最前線

岸田 日帯 横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経内科

S-31-2 糖尿病ニューロパチー治療の最前線

出口 尚寿 鹿児島大学病院 総合臨床研修センター

S-31-3 遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシス治療の最前線

植田 光晴 熊本大学 脳神経内科

S-31-4 末梢(および中枢)神経障害に対するHALを利用したサイバニクス治療の最前線

中島 孝 国立病院機構新潟病院 脳神経内科

S-32 シンポジウム32**配信 Jp**

5月21日(土) 8:00～10:00

第10会場(ガラス棟 4F G409)

神経遺伝学の最前線～ロングリード、AIから疾患まで～

座長：高嶋 博 鹿児島大学病院脳神経内科
 石浦 浩之 東京大学医学部附属病院脳神経内科

S-32-1 個人ゲノム内に潜むモザイク型リピート伸長

森下 真一 東京大学大学院新領域創成科学研究科

S-32-2 ロングリードシーケンシングを用いた疾患ゲノム解析

松本 直通 横浜市立大学大学院医学研究科 遺伝学教室

S-32-3 機械学習とAIの遺伝学研究への応用

内藤 龍彦 大阪大学 遺伝統計学／東京大学 神経内科学／理化学研究所 システム遺伝学

S-32-4 遺伝性痙性対麻痺の遺伝学-update

高 紀信 山梨大学病院 神経内科学講座

S-32-5 パーキンソン病の遺伝学update

船山 学 順天堂大学大学院医学研究科老人性疾患病態・治療研究センター／順天堂大学医学部神経学講座

S-33 シンポジウム33**Jp**

5月21日(土) 8:00～10:00

第11会場(ガラス棟 7F G701)

難病医療提供体制と地域共生～難病法の見直しを見据えて～

座長：宮地 隆史 国立病院機構柳井医療センター脳神経内科
 阿部 達哉 独立行政法人国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター

S-33-1 難病対策の現状と今後について

高橋友香里 厚生労働省健康局難病対策課

S-33-2 神経難病領域の難病診療分野別拠点病院の役割

駒井 清暢 医王病院 脳神経内科

S-33-3 神経難病患者の看護 地域での生活を支えるために

中山 優季 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター難病ケア看護ユニット

S-33-4 インターネットを活用した多職種の人材育成

今井 富裕 国立病院機構箱根病院

21
日シン
ポ
ジ
ウ
ム